

国際交流基金ケルン日本文化会館・ベルリン日独センター 共催

ベルリン日本語教育セミナー 2021

<オンライン> 協働学習の実践と方法

日時 2021年2月19日(金) 10:00~13:00 講義

2月20日(土) 10:00~13:00 ワークショップ

オンライン会議システム Zoom を利用、参加費無料

※時間は中央ヨーロッパ時間/CET

講師 協働実践研究会

館岡洋子先生 (早稲田大学)、**池田玲子**先生 (鳥取大学)

近藤彩先生 (麗澤大学)、**金孝卿**先生 (早稲田大学)

みなさんはピアラーニング、協働学習をどのような形で授業に取り入れていらっしゃいますか。グループ学習のこと？アクティブラーニングと同じ？実践しながら迷っている方もいらっしゃるかもしれません。今回のセミナーでは協働実践研究会のご協力を得て、1日目に協働学習の概論、協働学習入門のご講義、実践事例報告、2日目にケース学習の体験ワークショップを計画いたしました。奮ってご参加ください。

講師から一言

1日目は多くの方々に協働学習を知っていただくために、まず、協働の定義や多様な協働学習についてご紹介します。その後、協働学習の入門編の講義をします。入門編では、最初に協働学習授業のデザインポイントについてお話しします。次に、協働学習の授業事例をいくつかご紹介します。最後に、実施上の留意点について確認し、皆様からのご質問(事前)にお答えしたいと思います。

2日目には、ワークショップのスタイルでケース学習を体験していただきます。協働学習はさまざまな日本語授業として実施できます。今回のワークショップでは、日本語協働学習の中で開発された「ケース学習」をテーマにし、実践事例もご紹介します。ケース学習は、実際にあったトラブルや摩擦を教材化したものを使用して、学習者同士の討論を通じて、問題の発見と解決を行う一連のプロセスを内省する学習です。

プログラム

<1日目> 2月19日(金) 講義形式(定員100名)

- ① 協働学習のはじまり(20分) 館岡洋子先生
協働の意義やいろいろな「協働学習」があることなど概論的なことを紹介
- ② 協働学習入門(80分) 池田玲子先生
協働学習とアクティブラーニング。協働学習の基盤理論とデザインポイント。授業事例の紹介。
実施上の留意点、他
- ③ 協働学習の実践事例報告 倉持香先生、数原麗香先生

<2日目> 2月20日(土) ワークショップ形式(定員30名)

ケース学習の体験： 近藤彩先生、金孝卿先生

★2日目のワークショップにご参加の方は、必ず1日目の講義も受けてください。
1日目の講義のみのご参加は可能です。
先着順で定員に達し次第、受付を終了いたします。

お申込み

以下のリンクにアクセスして、必要な情報をご記入ください。

https://www.socisurvey.de/JKI_Berlin2021/



参考図書

『ピア・ラーニング入門—創造的な学びのデザインのために』ひつじ書房(2007)
池田玲子・館岡洋子

『協働で学ぶクリティカル・リーディング』ひつじ書房(2015) 館岡洋子(編著)

『ビジネスコミュニケーションのためのケース学習【解説編】：
職場のダイバーシティで学び合う』ココ出版(2015)
近藤彩・金孝卿・池田玲子

『ビジネスコミュニケーションのためのケース学習【教材編】：
職場のダイバーシティで学び合う』ココ出版(2013)
近藤彩・金孝卿・ムグダヤルディー・福永由佳・池田玲子



『"異文化"トラブル解決のヒント!日本人も外国人も ケース学習で学ぼう ビジネスコミュニケーション』日経HR(2020) 金孝卿 近藤彩 池田玲子

<https://career-edu.nikkeihr.co.jp/category04/fhrbook.html>

皆さまのお申込みを心よりお待ちしております。 ケルン日本文化会館・ベルリン日独センター